

生活保護バッシングの風潮をどう見ているか。この間、政府は増大す

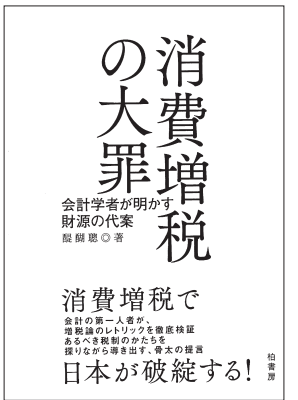
ほん Book

いま、最も必要な本

醍醐聰著『消費増税の大罪』(柏書房)

消費税を引き上げ、社会保障を抑制する「社会保障と税の一体改革」関連法案が6月26日、民・自・公の密室の「談合」で十分な議論もなく、採決が強行された。

私のような素人にとって、会計学だの税制の理論など全く苦手である。



四六判、272頁。定価1890円(税込)



全大阪生活と健康を守る会連合会 松岡恒雄会長に聞く

「不正受給」わずか0.38%

実態と異なる生活保護バッシング

「不正受給」の件数は全体の1.80%で、金額は0.38%(共に2010年度)に過ぎない。このなかには、高校生のアルバイト収入の申告漏れも含まれている。きちんと



遊離端義歯の設計について述べる 山上博史氏=7月14日、堺市内

遊離端義歯の設計を解説

患者に拒否されたかわいそうな義歯コレクションの映像の数々。堺・高石・和泉地区が7月14日、堺市中区開業の山上博史氏を講師に、同市内で開いた講演会のプロローグである。テーマは「今さら聞けないパージン

「不正受給」の問題が自己責任論に基づき、「親兄弟で面倒を見る。難しいけれど地域で世話する。それでもダメなら公助」といった形で、一部の人しか社会保障制度を受けられない仕組みに改変しようとして



ハイリスク患者への対応法を解説する河合利彦氏=7月14日、高槻市内

「不正受給」の問題が異なる。生存権を定めた憲法25条の理念を歪める考え方が露骨に表れてきているように感じる。

医科の知識高め連携を

三島地区は7月14日、「ハイリスク患者に対する口腔ケアおよび摂食嚥下障害の対応の実際と課題」と題し、河合利彦氏(市立芦屋病院嘱託医)を講師に高槻市内で講習会を開いた。35人が参加した。

ハイリスク患者への対応法を解説する河合利彦氏=7月14日、高槻市内

「不正受給」の問題が異なる。生存権を定めた憲法25条の理念を歪める考え方が露骨に表れてきているように感じる。

TPPパンフを発行



保団連は、TPP参加による医療への影響を分かりやすく解説したパンフレットを発行した。TPPが日本の公的医療保険制度を壊す危険な仕組みを図表やイラスト入りで説明している。協会